



安全と健康に関する重要な情報



警告

エネルギーデバイス

・ 訓練を受ける前に、二次的な負傷のリスクがあります。
 ・ 特定のモデルは、特定の状況でしか使用できません。
 ・ 警告、指示、およびすべての手順を厳密に守ってください。
 ・ 最新のバージョンに関する最新の情報を確認してください。
 ・ 法的責任を厳格に守ってください。

この文書には、Axon Enterprise, Inc. (以下「Axon」) の TASER エネルギーデバイスの使用に伴う危険を最小限に抑えることを目的として、安全上の重要な警告、指示、および情報が記載されています。これらの指示と警告は、ご自身を危険から守るだけでなく、他者の安全を守ることも目的としています。**エネルギーデバイスの取り扱いまたは使用前に、本書全体に目を通してください。**

エネルギーデバイスは、プローブ発射モードで指示どおりに使用すると、他の武器よりも安全な距離から一時的に相手を無力化させると同時に、死亡または重傷の発生率を減らすように設計されています。しかし、エネルギーデバイスを使用をはじめとしたあらゆる武力の使用には、エネルギーデバイスの効果、身体的制圧、身体的運動、予期せぬ状況、個人の感受性等を原因とする負傷や死亡の危険が伴います。本書の指示と警告に従うことで、エネルギーデバイスの使用が死亡や重傷を招く可能性が低くなります。

これらの警告と指示は **2022 年 9 月 20 日** に発効したもので、それ以前のすべての改訂版および関連する訓練ハンドブックに優先します。**本書を TASER エネルギーデバイスの全ユーザーに直ちに配布してください。**最新の警告はオンライン (www.axon.com) でも確認いただけます。

- まず訓練を完了してください。**TASER エネルギーデバイスはモデルごとに大きな違いがあります。特定のモデルについて認定 TASER インストラクターによる訓練を受けるまで、そのモデルのエネルギーデバイスを取り扱ったり、使用したりしないでください。¹
- よく読み、従ってください。**TASER エネルギーデバイスを取り扱ったり、使用したりする前に、すべての最新の説明書、警告、および関連する TASER トレーニング資料を読み、理解したうえで、それに従ってください。上記を行わない場合、ユーザー、武力行使の対象者、その他の人が死亡する、または重傷を負うリスクが高まる恐れがあります。
- 適用される法律、規制、機関のガイダンスを遵守してください。**エネルギーデバイスの使用が適法であることを必ず確認し、適用される連邦、州、地方自治体の法律または規則に従ってください。特定の状況または状況でエネルギーデバイスを使用する場合、該当する法執行機関のガイダンスに従うことが必要です。²

本書では、特定の警告を表すシグナルワードのパネルを使用します。

警告 このシグナルワードのパネルには、**回避しなければ死亡または重傷のリスクを高める、潜在的に危険な状況**が示されます。

警告の後には、リスクの軽減、危険の回避、エネルギーデバイスの安全性向上に役立つ指示や情報が続く場合があります。

安全に関する情報：エネルギーデバイスのリスクと
リスクの回避

警告 **二次的な負傷。**エネルギーデバイスの TASER 体験によって体の制御が失われると、転倒など、制御不能な動きが原因で怪我を引き起こす場合があります。二次的な負傷が生じることが予想される場合は、リスクが高まってエネルギーデバイスを使用することが正当化される状況を除き、エネルギーデバイスの使用を可能な限り避けてください。

エネルギーデバイスの使用により、体の制御を失う原因には、以下のものがあります。

- 発作。**人によっては、反復的な刺激(点滅する光や電気的な刺激など)により発作が誘発されることがあり、死亡や重傷のリスクが高まる可能性があります。このリスクは、てんかんや発作歴のある人、または電気的な刺激が頭部に伝わった場合に高まる可能性があります。エネルギーデバイスやその他の武力の行使が伴う事件では、感情的ストレスと身体的疲労の両方が生じやすく、発作を誘発する要因として報告されています。
- 失神。**人によっては TASER 体験、または TASER 体験が近づいてくるとして極端な反応を見せ、結果として失神または転倒する場合があります。
- 筋肉の収縮、無力化、驚愕反応。**エネルギーデバイスを使用により、筋肉の収縮、無力化、驚愕反応によって体の制御が失われる可能性があります。

これらのリスクを軽減するには、エネルギーデバイスを使用する前に相手の位置を考慮してください。

二次的な負傷が生じることが予想される場合は、リスクが高まってエネルギーデバイスを使用することが正当化される場合を除き、以下の状況の相手に対してエネルギーデバイスを使用することは可能な限り避けてください。

- 地面より高い場所や不安定な表面(木、屋根、はしご、棚、バルコニー、ポーチ、橋、階段など)の上にいる
- 鋭利な物体や硬い表面に落ちる可能性のある(ナイフを持っている、ガラス上に落ちるなど)
- 転倒した場合に姿勢を立て直したり我が身を守ったりする能力が低下している(拘束されている、手錠をかけられているなど)
- 走っている
- 何らかの交通手段(車両、バス、自転車、オートバイ、電車など)、乗り物(エスカレーター、動く歩道、エレベーター、スケートボード、ローラースケートなど)、機械を運転したり、それに乗っかっている
- 自由に動けない状態で水中、ぬかるみ、沼地などにいる

警告 **火災および爆発の危険。**可燃性のガス、煙霧、蒸気、液体、または物質が存在する環境でエネルギーデバイスを使用すると、火災や爆発が生じる可能性があります。火災または爆発の危険がある場所でエネルギーデバイスを使用すると、死亡または重傷のリスクが高まる可能性があります。可燃性の危険が存在することがわかっている状況で、正当な理由なくエネルギーデバイスを使用することは、可能な限り避けてください。

- エネルギーデバイスは、爆発性または可燃性の物質、液体、煙霧、ガスまたは蒸気(ガソリン、下水設備やメタンフェタミン

¹認定を有している TASER インストラクターは Axon の代理人ではありませんが、有効な TASER インストラクター認定を有しており、Axon の最新の訓練要件、資料、ライセンス契約を遵守しています。本書と矛盾する認定 TASER インストラクターによる表明は、明示的に否認されます。

²法執行機関は武力行使の専門家であり、自らのガイダンスに対して 2022 年 9 月 20 日 MPC0192 改訂：C 英語のページ：1/5

全責任を負います。「ガイダンス」には、ポリシー、慣行、手順、規則、命令、指令、訓練、継続教育および基準が含まれます。Axon には、ガイダンスを徹底したり、ポリシーを設定したり、訓練を要求したり、手入れや行動の基準を確立したりする権限はありません。



研究所内の蒸気またはガス、ブタンガスライター、可燃性ヘアジェル、一部の護身用スプレー、アルコールベースの手指消毒剤など)に点火する可能性があります。火災または爆発のリスクが高まってエネルギーデバイスを使用することが正当化される場合を除き、爆発性物質または可燃性物質の存在下でエネルギーデバイスを故意に使用しないでください。

1回の回路完了による最大 15 秒間の放電に関する複数の人体研究では、生理的、代謝面、およびストレスホルモン上の変化は、奮闘、抵抗、戦闘、逃走に類似した身体的疲労、または他の武力やテクニックによる影響から予想される変化に相当するか、それよりも少なかったことが報告されています。

TASER 体験によるリスクを減らすには：

警告 **筋収縮または筋挫傷関連の負傷。**プローブ発射モードにあるエネルギーデバイスは、骨折を含むけがの原因となりうる筋収縮を引き起こす可能性があります。

警告 **ハイリスクな人。**妊婦、虚弱体質者、高齢者、低BMI者、または小さな子どもに対するエネルギーデバイスの使用は、死亡または重傷のリスクを高めます。他の武力の使用の選択肢と同様に、これらのハイリスクの対象集団に対するエネルギーデバイスを使用については、科学的な試験が行われていません。そのような人に対してエネルギーデバイスを使用するのは、死亡または重傷のリスクが高まってエネルギーデバイスを使用することが正当化される場合に限りです。

- プローブ発射モードにあるエネルギーデバイスは、身体的運動、陸上競技、スポーツによるものと同様の損傷につながる筋収縮を引き起こす可能性があります。そのような損傷には、軟組織、臓器、筋肉、腱、韧带、軟骨、椎間板、神経、骨、関節に対するヘルニア断裂、脱臼、断裂、その他の損傷が含まれます。また、骨折（椎骨の圧迫骨折を含む）を引き起こす可能性もあります。
- 妊娠、骨密度の低下、脊椎損傷、または筋肉、椎間板、韧带、関節、骨、腱の既往の損傷や手術歴がある場合を含め、既往の怪我や整形外科的な器具、疾患、特に感染しやすい人の場合、これらの損傷がより発生しやすく、より重篤になる可能性があります。上記の損傷は、ドライブスタンを使用した場合や、対象者がエネルギーデバイスのプローブ発射に急激な動きや予期せぬ動きで反応した場合にも発生する可能性があります。

1. **TASER 体験の回数と継続時間を最小限に抑える。**適法な目的の達成のため、TASER 体験は、客観的かつ合理的な最短時間にとどめ、TASER 体験を開始または継続する前に、対象者の行動や反応、抵抗を再度評価してください。対象者を従順化させるのにエネルギーデバイスのプローブ発射が効果的でない場合は、代替の制御方法（エネルギーデバイスと併用または別途使用）を検討してください。
2. **複数のエネルギーデバイスの同時暴露は避ける。**正当な理由なく、故意に複数のエネルギーデバイスまたは複数の完結回路を同時に使用しないでください。
3. **迅速に制御し、制圧する。**TASER 体験中（制圧して手錠をかける）を含め、合理的に安全かつ現実的である場合には速やかに、制御と拘束手順を開始します。
4. **エネルギーデバイスの放電中はプローブワイヤーに触れないようにする。**TASER 体験中に対象者を制御/制圧することは、エネルギーデバイスのユーザーや他のサポーターを偶発的または意図しない衝撃のリスクにさらすことになる可能性があります。通電中には、プローブとワイヤー、プローブ間の隙間に触れないようにしてください。

警告 **生理学および代謝面の影響。**大半の武力行使の選択肢と同様に、TASER 体験は、生理学的な変化や代謝の変化、ストレス、痛みなどを引き起こす可能性があります。特に影響を受けやすい人は、エネルギーデバイスの 1 回以上の通電によって死亡や重傷のリスクが高まる場合があります。正当な理由なしに通電を繰り返す、継続する、同時に行うことは、可能な限り最小限に抑えてください。

警告 **心臓捕捉。**エネルギーデバイスの通電が心臓に近い胸部で起こると、可能性は低いものの、余分な心拍（心臓捕捉）を誘発する場合があります。稀な状況においては、心臓捕捉が心臓停止につながる可能性があります。重傷や死亡の可能性を下げるために、可能であれば、心臓に近い胸部は狙わないでください。

子供や痩せ型の成人の場合は、心臓が皮膚表面に近く、エネルギーデバイスのプローブが心臓の近くに命中した場合はダートから心臓までの距離が短くなるため、心臓捕捉の可能性が高くなります。また心機能が低下している人や、心臓ペースメーカーや除細動器が埋め込まれている人には、重篤な合併症が発生する恐れもあります。

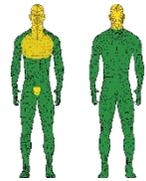
負傷のリスクを減らすには：

生理学および代謝面の変化。エネルギーデバイスの使用により、特に影響を受けやすい人の死亡や重傷のリスクを高める生理学的な変化や代謝の変化が生じる可能性があります。これらの影響には、血液化学、血圧、呼吸、心拍数と心臓動、アドレナリンとストレスホルモンの変化などが含まれます。

ストレスと痛み。エネルギーデバイスの使用、使用されることの予期、痛みに対する反応により、驚愕、パニック、恐怖、怒り、激情、一時的な不快感、痛み、またはストレスが引き起こされ、特に影響を受けやすい人の死亡や重傷のリスクを高める可能性があります。

特に影響を受けやすい人。これには、心臓病、ぜんそく、その他の肺疾患を患っており生理学的または代謝面で障害を持つ人や、興奮型せん妄、激しい興奮、極度の疲労といった症状のある人、薬物中毒の人、慢性的な薬物乱用を行っている人、身体的な抵抗による過度な運動を行った人が含まれます

1. **推奨されるターゲットエリアに合わせる。**推奨されるターゲットエリア（緑）は、対象者が後ろ向きであれば首より下の領域で、正面を向いている場合は胴体中心部の下の領域（胸の下）です。推奨されるターゲットエリアを狙うことで、ダートから心臓までの距離が遠くなり、心臓へのリスクの低下につながります。可能な場合は、正面ではなく、背面への発射を行ってください。



2. **敏感な部位はターゲットにしないでください。**可能な場合は、顔、目、頭部、喉、胸部（特に心臓の領域）、乳房、鼠径部、性器、怪我があった部位など、身体の敏感な部位を意図的にエネルギーデバイスのターゲットにすることは避けてください。



安全に関する情報：エネルギーデバイスの効果

エネルギーデバイスは、他の武力と同様に、常に意図したとおり機能するとは限らず、すべての対象者に対して効果があるわけではではありません。他の武力の使用の場合と同様に、特定の選択肢が効果的でない場合は、所属機関のガイダンスに従って、他の武力の使用、撤退、または他の代替手段への切り替えを検討してください。代答案を常に用意しておくことが重要です。

警告 対象者の無力化に至らない。効果のないエネルギーデバイスの使用は、そのユーザーや対象者、その他の人を死亡や重傷のリスクにさらす可能性を高めます。エネルギーデバイスが意図したとおり作動しない場合、または対象者の無力化に至らない場合は、所属機関のガイダンスに従って撤退し、エネルギーデバイスを再発射するか、別の武力の選択肢に切り替えるかを検討してください。

エネルギーデバイスの効果は、ダートの不到達や衣服による未接続、断続的な接続、断線、プローブの命中場所や拡散、対象者の筋肉量や動きなど、多くの要因によって制限される場合があります。対象者を制圧する能力を制限する可能性のある要因には、次のようなものがあります。

- **対象者が完全には無力化されない可能性。** 対象者は、エネルギーデバイスの影響を体の一部に受けた場合でも、体の他の部分（特に、手や腕）の筋肉の完全な制御を維持できる可能性があります。できるだけ早く対象者を制圧および拘束し、対象者が完全に無力化状態になっていない場合に備えてください。
- **対象者がすぐに回復する可能性。** エネルギーデバイスによる通電を停止した後、通電を受けた対象者の身体的な能力または認知能力がすぐに回復する場合があります。できるだけ早く対象者を制圧および拘束し、対象者がすぐに回復する場合に備えてください。
- **ドライブスタンモードは痛みによる従順化のみ。** 携帯型のエネルギーデバイスをドライブスタンモードで使用すると痛みを与えますが、多くの場合は無効化するには至りません。ドライブスタンは、情緒障害を持つ相手、アルコールまたは薬物の影響下にある相手、または精神と身体との剥離によって痛みに反応しない可能性のある相手には、効果がないことがあります。従順化が達成されない場合には、このような人に対してドライブスタンを繰り返し使用することは避けてください。
- **プローブが命中しない可能性。** エネルギーデバイスは精密な照準装置ではありません。プローブの発射、飛行軌道、衝突位置は、さまざまな要因の影響を受ける可能性があります。たとえば、カートリッジやプローブの精度、カートリッジの不適切な発射、強風、ユーザーと対象者の動きのほか、対象者、衣服、物体に当たったときの力や軌道が不十分であるためにプローブが対象者に貫通しないまたは刺さらないことなどが挙げられます。プローブが命中しないと、効果がなく、限定的な効果しか得られない可能性があります。
- **エネルギーデバイスやカートリッジが正しく発射されない、または動作しない可能性。** すべてのデバイスシステム、武力オプション、エネルギーデバイスが常に正しく動作し、効果があるとは限りません。エネルギーデバイス、カートリッジ、付属品が動作不能の場合または機能しない場合は、所属機関のガイダンスに従って、再装填して再発射すること、予備のカートリッジを発射すること、他の武力オプションを使用すること、撤退すること、または他の代替手段を使用することを検討してください。

安全に関する情報：怪我または感染

エネルギーデバイスのプローブや放電は、怪我の原因になる可能性があります。怪我の性質と重症度は、通電の範囲、命中の度合い、個人の感受性のほか、エネルギーデバイスの使用、通電、その後の処置に関連した多くの要因によって異なります。治療が必要になる場合があります。

警告 目に怪我を負う危険性。TASER のプローブ、電極、電気が目に接触、または目に近い位置に命中または発生すると、永久的な視力喪失を含む重傷につながる可能性があります。正当な理由なしに、エネルギーデバイス（レーザーを含む）を意図的に人や動物の目に向けしないでください。

警告 レーザー光の危険性。エネルギーデバイスは、レーザー照準補助装置を使用します。レーザーは、永久的な視力喪失を含む重篤な眼外傷を引き起こす可能性があります。決して、航空機もしくはその操縦者、または移動中の車両にレーザーを向けないでください。

警告 プローブまたは電極による負傷、刺し傷、瘢痕化、感染の危険性。エネルギーデバイスの発射により、永久的なあざや火傷、傷跡、刺し傷、その他の皮膚や組織の損傷が生じる可能性があります。感染が死亡や重傷につながる可能性があります。エネルギーデバイスをドライブスタンモードで使用した場合は、傷跡が残るリスクが高まる可能性があります。複数のカートリッジを備えたエネルギーデバイスをドライブスタンまたは3点発射モードで使用すると、皮膚の炎症、摩擦、あざ、灼熱感、または瘢痕化が起こりやすくなります。

警告 貫通による損傷。TASER プローブには細かなダートポイントが備わっており、これが肺、骨、神経を含む血管や内臓に貫通による損傷を引き起こす可能性があります。（剥がれるまたは壊れる可能性がある）プローブまたはダートポイントは、骨、器官、組織に穴を開けたり、埋まったりする恐れがあります。その場合は、直ちに治療や外科的除去が必要になる、または瘢痕化、感染症、その他の重篤な怪我を負う可能性があります。

- 重篤または永久的な負傷のリスクを減らすには：
1. **必要に応じて医療処置を行う。** プローブまたはダートの先端が血管や臓器、神経、または骨に貫通したことによって生じる負傷には、医療処置が必要になる場合があります。目、性器、乳房、首、喉、血管構造などの敏感な部位にプローブ、ダート先端、またはバンプが埋まると、重傷となる可能性があります。このような負傷がすべてそうであるように、感染症や破傷風、およびその結果として合併症が生じる可能性があります。所属機関のガイダンスに従って、必要に応じて医療処置が提供できるようにしてください。
 2. **所属機関のガイダンスに従ってプローブを取り外す。** プローブの取り外しが怪我の原因となる場合があります。また、プローブを体内に残したままにすると、痛みや負傷が生じる可能性があります。プローブの取り外しに関する所属機関のガイダンスとバイオハザードの取り扱い手順に従ってください。プローブ、ダート先端、またはバンプが臓器や骨に埋まったり、貫通したり、刺し傷した場合は、ただちに医療処置が必要となり、場合によっては外科的除去が必要となる場合があります。
 3. **バイオハザードの取り扱い手順に従う。** 隔離手順や保護具を含む、バイオハザードの取り扱いに関する適切な手順に従います（必要に応じて手袋やマスクの着用、手や露出部分の洗浄などを行います）。バイオハザードを取り扱う際は、所属機関のガイダンスに加え、バイオハザード、廃棄物、証拠物に関連した適切な手順に従ってください。



安全に関する情報：エネルギーデバイスの プローブ発射と使用

警告 エネルギーデバイスとカートリッジは武器であり、あらゆる武器と同様に、安全な取り扱い慣行に従い、安全に保管する必要があります。

取り扱い方法と安全な保管本書に記載する慣行に従い、また所属機関のガイダンスに追加要件がある場合は、そちらにも従ってください。警告に従わない場合は、死亡や重傷のリスクが高まる恐れがあります。

警告 拳銃とエネルギーデバイスの取り違い。拳銃とエネルギーデバイスを混同すると、死亡や重傷のリスクが高まる可能性があります。感触やホルスターに出し入れする際の特徴など、エネルギーデバイスと拳銃の違いについて把握し、取り違いのリスクを減らすようにしてください。Axon では、取り違いのリスクを減らすために、エネルギーデバイスと拳銃をそれぞれ体の反対側に携帯することを推奨しています。常に機関のガイダンスと訓練に従ってください。

警告 トリガーが押されたままになるモデルとの違い。ほとんどのエネルギーデバイスでは、トリガーを引くと、それを戻すまで、または電源が切れるまで通電が続きます。APPM (自動シャットダウンパフォーマンスパワーマガジン) が取り付けられている場合、X2 と X26P は、ユーザーがトリガーを押し続けた場合でも、エネルギーデバイスの放電を 5 秒で停止するようプログラムできます。また、発射したカートリッジに再通電するには意図的な操作が必要です。TASER 7 と TASER 10 の場合は、(バッテリーパックとは独立した) 本体に同様のオプションが搭載されています。お使いのモデルとその仕組みについて十分に理解してください。

警告 緊迫した状況や騒音の多い環境では、APPM、TASER 7、TASER 10 の警告音が聞こえない可能性があります。

警告 モデルとカートリッジ角度の違い。TASER エネルギーデバイスの各モデルとカートリッジの角度の違いを理解してください。M26、X26E、および X26P カートリッジの角度は 8 度です。X2 スマートカートリッジの角度は 7 度です。TASER 7 カートリッジは、3.5 度 (遠距離用) と 12 度 (近距離用) の角度で利用可能です。TASER 10 では、角度を事前に設定せずに各カートリッジを個別に発射します。推奨されるプローブ発射の距離は、使用するモデルとカートリッジによって異なります。各ユーザーは、現場で使用する可能性のある各モデルとカートリッジについて適切な訓練を受け、推奨プローブ拡散距離を達成するために必要なプローブ発射距離を把握しておく必要があります。

1. **正しく使用する。** エネルギーデバイスは、法的に正当な状況において、所属機関のガイダンスに従って、意図された目的にのみ使用してください。拷問やその他の不適切な用途には使用しないでください。

2. **安全な場所に保管する。** エネルギーデバイス、カートリッジ、付属品は、不適切な取り出しや使用を防ぐため、子供やその他の権限のない人物が取り出すことのできない安全な場所に保管してください。

3. **セーフティスイッチを使用する。** エネルギーデバイスを使用していないときは、セーフティスイッチを下 (安全モード) のポジションにします。エネルギーデバイスを使用するときは、デバイスのセーフティスイッチを忘れずに上 (起動モード) のポジションにしてください。

4. **エネルギーデバイスが装填されていると想定する。** エネルギーデバイスが装填され、発射可能な状態にあることを想定して、取り扱うことが重要です。予期せぬプローブ発射や通電を防ぐため、バッテリーパック、TASER カメラ、または TASER カメラ HD

レコーダーを挿入するときや、スパークテスト (X2、X3、TASER 7、TASER 10 のファンクションテストを除く)、メンテナンス、データのダウンロード、バッテリーの充電を実行するときは、エネルギーデバイスに実弾用カートリッジがセットされていないことを確認してください。

5. **エネルギーデバイスのトリガーとアークボタンに注意する。** エネルギーデバイスの使用が法的に正当化され、プローブ発射または通電の準備が整うまで、トリガーとアークボタンには指を触れないでください。

6. **エネルギーデバイスの仕組みを理解する。** TASER エネルギーデバイスはモデルごとに大きな違いがあります。エネルギーデバイス (マルチショット式のエネルギーデバイスを含む) の取り扱いや使用を開始する前に、当該モデルの機能と効果について理解しておいてください。

7. **X2 と X3 の発射モードを確認する。** 使用する前に、X2 と X3 での発射モード (マニュアルまたはセミオートマチック) が設定されているかを確認してください。

8. **X2 の静的 (固定) レーザー照準器モードについて理解しておく。** X2 には静的デュアルレーザーが備わっています。一方のレーザーは上部ターゲット、もう一方のレーザーは下部ターゲットとおおよその位置合わせに使用されます。どちらのレーザーも、対象者から 15 フィート (4.6m) の距離にある 15 フィートカートリッジと 25 フィート (7.62m) カートリッジ用に設定されています。35 フィート (10.7m) の長距離カートリッジを X2 にセットした場合、その軌道は下部レーザーの位置と一致しません。

9. **TASER の動的レーザー照準について理解しておく。** TASER 7 には 3 つのレーザーが備わっています。1 つのレーザーは、対象者から 15 フィート (4.6m) の距離で上部ターゲットとおおよその位置合わせを行うように設計されています。他の 2 つのレーザーは、装填されたカートリッジの種類 (3.5 度または 12 度) に応じてアクティブになり、下部プローブのおおよその軌道と位置合わせされます。

10. **シミュレーション (訓練用) カートリッジは、訓練または実習目的でのみ使用する。** シミュレーション (訓練用) カートリッジを装填したエネルギーデバイスは現場や護身用に使用しないでください。シミュレーションカートリッジは練習のみを目的としており、対象者を無力化させる効果はありません。シミュレーションカートリッジには非導電性の素材でできたワイヤーが使用されており、電気パルスはプローブに伝達されません。

安全に関する情報：その他の危険

警告 プローブの跳ね返り。ターゲットがプローブのワイヤーの長さよりも遠くにいる場合、またはターゲットに命中しなかったプローブがある場合、プローブが跳ね返り、ユーザーやその場に居合わせた人に当たり、怪我を招く可能性があります。シミュレーションカートリッジにはナイロン製のプローブワイヤーが使われているため、プローブの跳ね返りが生じる可能性が高くなります。

ターゲットが射程内にいることを常に確認してください。訓練や練習でエネルギーデバイスを使用する場合は、保護メガネを着用します。プローブが跳ね返って意図しない人物、動物、または物体に当たったり、裏打ちを突き抜けて対象者の後ろの物体に当たったりすることのないよう、練習用のターゲットに頑丈な裏打ちがあり、プローブが刺さって止まることを確認してください。

警告 発射したプローブがワイヤーから外れる。発射したプローブが対象者に当たらないと、ワイヤーから外れて相当な距離を飛行し、重傷を招く可能性があります。ターゲットが射程内にいることを常に確認してください。



安全に関する情報：一般的な注意事項

警告 エネルギーデバイスの意図しない発射または放電の危険性。エネルギーデバイスの意図しない起動、放電、プローブ発射は、ユーザーや対象者、その他の人を死亡や重傷のリスクにさらす可能性を高めます。

意図しないプローブ発射または放電のリスクを減らすには：

- 静電気を避ける。**カートリッジは静電気の発生源から遠ざけてください。静電気により、エネルギーデバイスからの予期せぬ放電が起こり、重傷を負う恐れがあります。静電気や意図しない放電を最小限に抑えるために、エネルギーデバイスは、承認されたホルスターに入れて持ち運んでください。
- 身体の一部をエネルギーデバイスまたはカートリッジの前面に近づけない。**手や身体の一部は、エネルギーデバイスおよびカートリッジの前面から常に遠ざけるようにしてください。エネルギーデバイスの予期せぬ放電または発射によって、負傷する可能性があります。
- 電子機器の干渉を避ける。**エネルギーデバイスの近くに電子伝送装置があると、エネルギーデバイスの適切な動作が妨げられ、エネルギーデバイスが発射または放電する可能性があります。エネルギーデバイスは他の電子機器から少なくとも数インチ離れた場所で使用してください。無線送信機や携帯電話などの電子機器が近くにあるときは、デバイスのセーフティスイッチを下（安全モード）のポジションにします。エネルギーデバイスを使用する前に、デバイスのセーフティスイッチを忘れずに上（起動モード）のポジションにしてください。
- エネルギーデバイスやカートリッジを落とさないようにする。**エネルギーデバイスやカートリッジが落下または破損すると、意図せず発射または放電したり、動作不能になったり、機能しなくなったりすることにより、使用を継続するものが危険な状態となる可能性があります。エネルギーデバイスやカートリッジが落下または破損した場合は、最新版の TASER トレーニング資料で推奨されている手順を参照してください。

安全に関する情報：メンテナンス

警告 エネルギーデバイスのメンテナンスを指示どおりに行わないと、エネルギーデバイスが誤動作したり、最適な状態で機能しなくなったりすることにより、死亡や重傷のリスクが高まる可能性があります。推奨されるメンテナンス手順に従ってください。

死亡や重傷のリスクを軽減するには：

- 各シフトの前にスパークテスト（動作確認）を安全に実行する。**テストを行うことにより、エネルギーデバイスが適切に機能していることを確認できます。テストの詳細については、最新版の TASER トレーニング資料と製品マニュアルを参照してください。
- 破損したエネルギーデバイスやカートリッジの使用を避ける。**差し迫った脅威に直面していない限り、プラスチックが欠損したカートリッジは使用しないでください。適切な権限のない人物がエネルギーデバイスの修理または改造を行うと、エネルギーデバイスの発射、放電、または誤動作を引き起こす可能性があります。保証が無効になり、ユーザーまたはその場に居合わせた人が死亡や重傷の危険にさらされる可能性があります。修理されたプラスチックを備えたカートリッジは、訓練のみで使用し、現場では使用しないでください。

3. エネルギーデバイスのソフトウェアをアップデートする。一部のエネルギーデバイスにはアップデート可能なソフトウェアがあります。最新のエネルギーデバイスソフトウェアを入手するには、Axon のカスタマーサービス部門に連絡するか、www.evidence.com または www.axon.com に掲載されている指示に従ってください。

- Axon によって承認されたコンポーネント、バッテリー、付属品、カートリッジのみを使用する。エネルギーデバイスは高度な電子システムです。適切に機能させるため、エネルギーデバイスには Axon によって承認されたコンポーネント、バッテリー、付属品、カートリッジのみを使用してください。Axon によって承認されたコンポーネント、バッテリー、付属品、およびカートリッジ以外のものを使用すると、保証が無効になり、誤動作が生じる可能性があるほか、ユーザーまたはその場に居合わせた人が死亡や重傷の危険にさらされる可能性が高くなります。
- 濡らさないように注意する。エネルギーデバイスが水やその他の液体に濡れたり浸かったりした場合は、メーカーによって推奨されている手順を完了するまでは、エネルギーデバイスを使用したり、使用しようとしてください。
- カートリッジとカートリッジ接触部をきれいに保つ。カートリッジ上またはカートリッジベイ内の接触部が汚れていると、エネルギーデバイスがカートリッジを適切に発射できない可能性があります。
- エネルギーデバイスとカートリッジの想定耐用年数を知っておく。通常の保管条件、取り扱い条件、操作条件の下では、エネルギーデバイスとカートリッジの想定耐用年数は5年です。想定耐用年数を過ぎたエネルギーデバイスまたはカートリッジを使ったり、使おうとしたりすると、誤動作が生じ、効果が出ない可能性があります。エネルギーデバイスまたはカートリッジの適切な手入れとメンテナンスを怠ると、製品の想定耐用年数が大幅に短縮するか、製品が早期故障する可能性があります。

安全に関する情報：分解と破棄

警告 分解しないでください。適切な取り扱いと破棄については、所属機関のガイダンスを参照してください。

M26、X2、X26E、X26P、TASER、TASER 7、TASER 10、
および d は、Axon Enterprise, Inc. の商標です。
その一部は米国およびその他の国で登録されています。
All rights reserved.
© 2022 Axon Enterprise, Inc.